

平成30年1月19日(金)
奈良新聞

飲水思源

自動車販売のリーダー

25

□菊池武三郎伝

トヨタ自動車販売店協
会内部で起こったのは、
争議後の自工再建、自販
発足という新事態だけで
はなかった。昭和25年4
月に実施された自動車配
給統制撤廃に伴う自由販
売時代到来という転換期
に対応できる、新しい協
会の体制を作る気運も生
じていた。菊池武三郎が
理事長を務めた戦後の販
売店指導体制が、一つの
節目を迎える時期になっ
ていた。

販売店の安定成長期の
体制を築くために、25年
10月に協会の臨時総会が

トヨタ自動車販売店協会の改組

悲願の自由販売実現

あれだけ活躍できたの
は、山口昇氏とめぐり会
ったおかげだ」と語って
いる。二人の関係をよく
見た意見である。

問にも委嘱された。これ
らは戦後の困難な時期
に、販売店協合理事長と
してトヨタの再建と発展
へと向かった。帰国後、
トヨタ自動車販売店協会
の総会で、山口が基調報
告を行なっている。7月
には訪米団5
人による手記
「米自動車
随想」が刊行
された。武三郎も「百聞
は一見に如かず」との一
文を書いている。若き日
にゼネラルモーターズの
セールスマンとして自動
車業界に入った武三郎の
感慨が随所にあり、同時
に古都・奈良を第2の故
郷とする彼が歴史の浅い
米国を見て、日本の良さ
や歴史の尊さを再確認し
ていることが、他の人々
の見聞にはない特色とな
っている。



協会改組直後の首脳(左から)山口理事長、
滝川副理事長、小橋副理事長、菊池相談役

て、全国で初
めての複数店
の誕生となっ
た。資本金の
8割を自販、
2割を全国の
販売店が出
資。会長に神
谷正太郎、社
長には自販の
筆頭常務の永
井英が、取締
役に武三郎が
就任した。29
年に武三郎
は、トヨタ自
動車工業の顧
問に就任した。
29年4月、視察団は羽
田空港を出発し、米本土
日掲載

(文中敬称略)

毎週金曜